

令和4年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校「日本史A 新訂版」(35・清水・日A310)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・歴史という時間軸を感じる。
- ・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・過去を振り返ることで、現在の日本の在り方を考える。
- ・授業を大切にし、自分でよく考える。
- ・提出物は必ず期限を守って提出する。

2 学習の到達目標

- ・我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
- ・我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
- ・国際社会に主体的に生きるに日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	我が国の歴史の展開に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
1学期	近代史を学ぶ前に	I 東アジアと日本の文明化	○	○	○	○	a: 縄文時代から近世にいたる時代区分座標軸となる歴史的事象を理解することができたか。 b: 近代までの日本史の動きを世界史の流れと関連づけて考えることができたか。 c: 必要な諸資料を自ら収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d: 近世の国家体制の実態や民衆の生活と文化と東アジア世界の中での日本の位置付けなどを読み解けたか。	定期考査 ワークシート
		II ユーラシア大陸の激動と武家幕府の形成	○	○	○	○		
		III 幕藩体制国家の成立と東アジア	○	○	○	○		
	序編 私たちの時代と歴史	1 日本の近代化とアイヌの人権 2 近代・現代とはどういう時代であったのか	○	○	○	○	a: アイヌの人びとの人権を通して近現代の日本の課題を考えられたか。 b: 帝国主義の時代という世界史の動きと関連して日本国内とアイヌの人々の状況を考えられたか。 c: 必要な諸資料を自ら収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d: 近現代の歴史的事象と現在との結びつきを考察させる学習活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせられたか。	定期考査 ワークシート
	第1編 第1章 国際関係の変化と幕藩体制の動揺	1 19世紀の世界とアジア 2 外国船の来航と海防策 3 新しい学問と思想 4 社会の変化と農民の動向 5 幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革	○	○	○	○	a: 欧米諸国が18世紀以降にアジアに進出してきた背景や幕府の対応策を理解できたか。 b: 幕府の封建制度の矛盾が表面化する中で欧米諸国の接近する状況にどう対応していったかを考えることができたか。 c: 必要な諸資料を自ら収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d: 産業・経済の発展、学問・思想、教育における近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出に着目し、幕藩体制動揺期の内外の情勢について考えられたか。	定期考査 ワークシート

※令和3年度以前入学生用

2 学期	第2編 第1章 大戦期の世界と日本	1 護憲運動と大正デモクラシー	○	○	○	a: 第一次世界大戦と日本の社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めることができたか。 b: 大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響、政党政治の発展、大衆社会の特色と成立の背景から課題を見だし、国際社会の中の日本の政治や社会運動の動向、都市の発達や文化の大衆化と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現することができたか。 c: 必要な諸資料を自ら収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d: 大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響、政党政治の発展などについての基本的な事柄を、国際社会の中の日本の政治や社会運動の動向、都市の発達や文化の大衆化と関連付けて総合的に理解することができたか。	定期 考査 ワー クシ ー ト
		2 第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化		○	○		
		3 大戦景気と米騒動	○	○	○		
		4 政党内閣の成立と戦後恐慌	○	○	○		
		5 ヴェルサイユ体制	○	○	○		
		6 国際連盟の成立とワシントン体制	○		○		
		7 社会運動の高まり	○	○	○		
		8 関東大震災と政党内閣の時代	○	○	○		
		9 大衆文化の成立		○	○		
			第2編 第2章 第二次世界大戦と日本	1 金融恐慌と外交政策	○		
2 世界恐慌と昭和恐慌				○	○		
3 満州事変と国連脱退				○	○		
4 二・二六事件と日中戦争	○			○	○		
5 第二次世界大戦と日本				○	○		
6 日独伊三国同盟と日米の対立	○			○	○		
7 アジア太平洋戦争(太平洋戦争)の勃発	○			○	○		
8 日本占領下のアジア	○			○	○		
9 戦時下の国民生活	○				○		
10 日本の敗戦	○			○	○		

※令和3年度以前入学生用

第3編 第1章 戦後政治の動向と国際社会	1 占領と改革	○		○	○	a: 占領下の政治や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高めることができたか。 b: 日本の再出発及びその後の政治から課題を見だし、占領政策や諸改革と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現することができたか。 c: 必要な諸資料を自ら収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d: 我が国の再出発及びその後の政治についての基本的な事柄を、占領政策と諸改革と関連付けて総合的に理解することができたか。	定期考査 ワークシート
	2 占領下の政治と労働運動	○			○		
	3 日本国憲法の制定	○	○		○		
	4 冷戦と占領政策の転換	○	○	○	○		
	5 大戦後の国際情勢と日本の独立	○	○	○	○		
	6 戦後の国民生活と文化		○	○			
第3編 第2章 経済の発展と国民生活の変化	1 55年体制の成立	○	○		○	a: 高度経済成長や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高めることができたか。 b: 日本経済の発展と国民生活の変化から課題を見だし、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発展、経済の国際化と関連付けて多面的・多角的に考察し、経過や結果を適切に表現することができたか。 c: 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d: 日本経済の発展と国民生活の変化についての基本的な事柄を、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発展、経済の国際化と関連付けて総合的に理解することができたか。	定期考査 ワークシート レポート
	2 平和運動と安保闘争	○	○		○		
	3 高度経済成長	○	○	○	○		
	4 高度経済成長期の日本と世界	○	○	○	○		
	5 安定成長から経済大国へ	○			○		
	6 経済大国への道	○			○		

